

行田商工祭・忍城時代まつりで自衛隊をPR

埼玉地本（本部長・山本方之1等空佐）は、11月10日（日）、埼玉県行田市で開催された「第34回行田商工祭・忍城時代まつり」で広報を実施した。

映画「のぼうの城」の影響で、昨年の来場者は約5万人と、防衛省自衛隊を知っていただくには絶好の機会であり、今回初めて参加が実現した。

広報ブースでは、パネル・戦闘糧食の展示とともに、御家族で来場された方々にも楽しめるようにと、ぬりえコーナーや迷彩服・ミニ制服試着コーナーを開設した。ぬりえコーナーにおいては、子供達が戦車や護衛艦、戦闘機等を思い思いの色で染めていた。



また、試着コーナーでは親は迷彩服、子供達はミニ制服を着て、満面の笑みを浮かべながら家族の記念写真を撮っていた。中には、「将来、本物の制服を着てほしいですね」と、子供達の未来を想像する声も聞かれた。

埼玉地本は、今後も埼玉県各地で効果的な広報イベントを実施し、任務達成に邁進していく所存である。

